

2025 年4 月

JETRO

ミシシッピ州
ビジネスの魅力ガイド
State of Mississippi

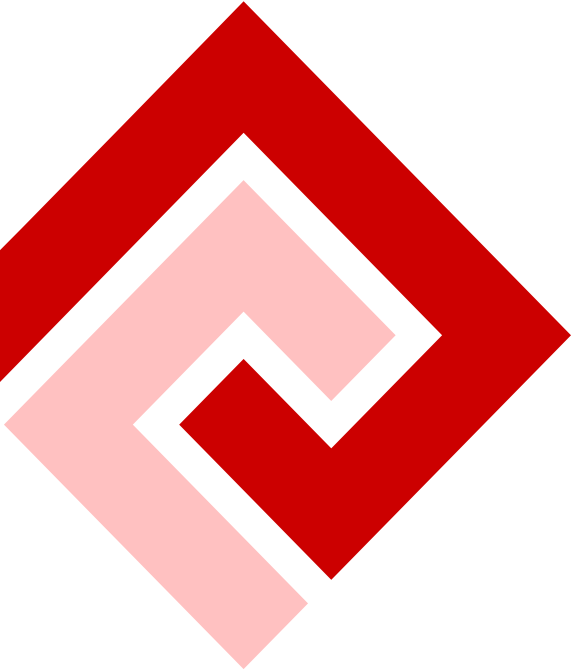
Mississippi State Capitol in Jackson, Mississippi

ミシシッピ州議会議事堂、ミシシッピ州ジャクソン

目次

Table of Contents

はじめに	3
基本情報	4
経済	
概況	6
主要産業	8
企業	13
投資インセンティブ	14
高等教育／特許	15
スタートアップ	17
ライフスタイル	18



【免責事項】
当レポートは、日本貿易振興機構（ジェトロ）ヒューストン事務所が米国調査会社Washington CORE, LLC.の協力を得て制作しました。原則2025年4月時点で入手した情報に基づきますが、一部統計等2024年末までに判明した情報を加えています。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、当レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

はじめに

Preface

ミシシッピ州の魅力

米国南部に位置するミシシッピ州は、全米50州の中で陸地面積では31位、人口は35位と決して規模の大きい州ではないが、ビジネス環境の良さで企業から注目を集めている。

ミシシッピ州の産業は、先進製造業、航空宇宙・防衛、農業・食品・飲料、自動車、流通・物流、林業・エネルギー・化学の6つの主要分野から成る。

航空宇宙・防衛産業では、NASAのジョン・C・ステニス宇宙センター（John C. Stennis Space Center）を中心に、ロッキード・マーチン（Lockheed Martin）、エアバス（Airbus）、レイセオン（Raytheon）、ハンティントン・インガルズ・インダストリーズ（Huntington Ingalls Industries）などの主要企業がイノベーションを推進している。

自動車産業は、日産自動車が州中央部のカントン（Canton）で5億ドルの設備投資を行い、電気自動車や電池の生産拠点を有している。

農業・食品・飲料産業も盛んで、同州は鶏肉生産で全米トップ5にあり、水産養殖業も活発である。

流通・物流産業も成長を続けており、アマゾン（Amazon）やセフォラ（Sephora）、ダラー・ゼネラル（Dollar General）などの企業が、高速道路や鉄道、港へのアクセスの良さを生かして、大規模なフルフィルメントセンターを設けている。

ミシシッピ州では、企業による投資と雇用創出を促進するため、ミシシッピ州経済開発局（Mississippi Development Authority：MDA）が中心となって、さまざまな補助金制度、融資制度、税優遇措置を設けている。エリア・デベロップメント・マガジンの「2023年ビジネスに最適な州」のランキングでは10位に選出。特に、プロジェクト許可の迅速さで4位、ビジネスコストの低さで7位、ビジネス・インセンティブと規制環境の良さで10位にランクインし、工場の移転先や新設地として注目を集めている。



Basic Information

A map of the United States with the state of Mississippi highlighted in red. The text 'ミシシッピ州' (Mississippi) is written in red below the state.

③ サウスヘイブン

⑥ オリーブ・ブランチ

ミシシッピ大学

⑦ トゥーペロ

ミシシッピ州立大学

ジャクソン・エヴァース国際空港

⑩ マディソン

① ジャクソン

⑨ パール

メリディアン

⑧

ビックスバーク国立軍事公園

④ ハッティズバーグ

⑤ ビロキシ

ジョン・C・ステニス宇宙センター

ガルフポート・ビロクシー国際空港

ガルフポート

②

バスカグーラ港

ガルフポート

①

①～⑩ ミシシッピ州人口ランキング上位10
都市（米国情勢調査局：2025年）

ミシシッピ州人口（単位：人）

人口	ミシシッピ州	米国全体
2020年	2,961,278	331,515,736
2024年	2,943,045	340,110,988
人口増減率（％）	-0.6	2.6

米国国勢調査局 2020年4月1日時点、2024年7月1日時点の推計。以下データは同局

ミシシッピ州と全米の人種構成（単位：％、2023年）

人種	ミシシッピ州	米国全体
白人	58.7	75.3
黒人（アフリカ系アメリカ人）	37.8	13.7
アメリカ先住民とアラスカ先住民	0.7	1.3
アジア人	1.2	6.4
ハワイ先住民とその他太平洋諸島の住民	0.1	0.3
2種類以上の人種	1.5	3.1
ヒスパニック（ラテンアメリカ人）	3.9	19.5
白人（ヒスパニック（ラテンアメリカ人）以外）	55.6	58.4

ミシシッピ州と全米の25歳以上に占める高卒・大卒率（調査期間：2019～23年）

	ミシシッピ州	米国全体
25歳以上の高卒率	86.6％	89.4％
25歳以上の大卒率	24.2％	35.0％

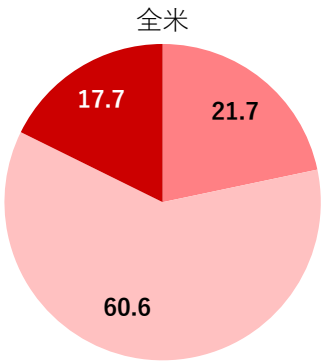
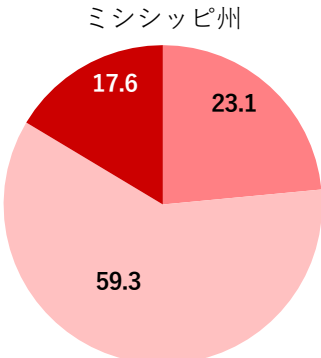
ミシシッピ州 知事、連邦議員

- 州知事：テイト・リーブス（Tate Reeves 共和党）。2020年1月14日に就任。2023年11月7日の選挙で再選を果たし、現在2期目、現在の任期は2028年1月9日迄
- 連邦上院議員：シンディ・ハイドースミス（Cyndy Hyde-Smith 共和党）、ロジャー・ウィッカー（Roger Wicker 共和党）
- 連邦下院議員：定数4。共和党議員3議席、民主党議員1議席

日本－ミシシッピ州関係

- 在ナッシュビル日本国総領事館管轄 在テュペロ名誉領事 デイビッド・ランバーガー（David P. Rumbarger）
- 在留邦人数 717人（2021年9月現在 在ナッシュビル日本国総領事館資料）
- アメリカ州政府協会在日事務所：ミシシッピ州政府駐日代表事務所 小林 幸夫 代表

ミシシッピ州と全米の人口に占める年齢別内訳（単位：％、2023年）



- 年齢18歳未満
- 年齢18歳以上65歳未満
- 年齢65歳以上

経済一概況

Economy

ミシシッピ州の経済成長（2024年）

GDP	ミシシッピ州	米国全体
実質GDP（百万ドル）	122,438	233,05,023
GDP成長率（%）	2.4	2.8

2017年を基準とした実質GDP（百万ドル）
データ：米国商務省経済分析局

ミシシッピ州の輸出入額（2024年）

輸出入額	ミシシッピ州 （百万ドル）	米国全体 （百万ドル）
輸出額	13,690	2,064,517
輸入額	21,400	3,267,389

データ：米国商務省国際貿易局

ミシシッピ州の世帯数と所得（2019～23年）

世帯・所得データ	ミシシッピ州	米国全体
世帯数	1,131,760	127,482,865
平均世帯人数	2.52	2.54
世帯所得（中央値、ドル）	54,915	78,538
貧困率（%）	18.0	11.1

データ：米国国勢調査局



ミシシッピ州の労働人口・失業者数

労働データ	2020年10月		2024年10月	
	ミシシッピ州	米国全体	ミシシッピ州	米国全体
労働人口（人）	1,290,854	160,867,000	1,255,659	168,479,000
失業者数（人）	95,126	11,061,000	36,652	6,984,000
労働人口に占める失業者の割合（%）	7.4	6.9	2.9	4.1

データ：米国労働統計局



ミシシッピ州ビックスバーク



ミシシッピ州の職業別雇用数・平均賃金（2024年5月）

職業	雇用者数（人）		平均年間賃金（ドル）	
	ミシシッピ州	米国全体	ミシシッピ州	米国全体
全体	1,159,710	154,187,380	49,740	67,920
マネジメント	53,520	10,966,830	103,970	141,760
ビジネス・財務	45,280	10,351,440	73,720	93,680
コンピュータ・数理	16,520	5,192,890	74,690	116,810
建築・エンジニアリング	13,910	2,567,210	90,180	103,980
自然科学、社会科学	7,570	1,446,770	72,850	89,690
コミュニティ/社会サービス	17,440	2,569,630	48,760	63,030
法務	6,110	1,273,410	84,270	137,680
教育、訓練、司書	70,440	8,947,710	51,540	65,900
アート、デザイン、エンターテインメント、スポーツ、メディア	9,440	2,098,690	53,080	77,040
医療・看護・技師	84,500	9,592,690	82,450	105,220
医療補助	46,910	7,448,010	31,290	39,650
保安警備	32,310	3,654,910	41,460	61,000
飲食業	110,820	13,613,490	26,440	36,020
土地建物清掃メンテ	34,170	4,496,150	30,200	39,540
パーソナルケアとサービス	21,590	3,159,940	33,660	39,410
販売・営業	110,050	13,351,680	38,180	54,070
事務/管理補助	141,570	18,218,070	40,880	50,160
農業、漁業、林業	4,440	442,050	40,910	41,730
建設・採掘	46,710	6,361,720	50,940	63,920
設置、保守、修理	57,790	6,045,020	53,660	61,640
生産	102,930	8,743,450	45,360	50,090
運輸・運搬	125,710	13,645,620	43,470	48,750

データ：米国労働統計局

経済－主要産業

Major Industries

ミシシッピ州には産業の成長を促進するビジネス環境が整っている。温暖な気候と肥沃な土壌により、歴史的に農業が盛んで、家禽や卵の生産が主要産業の一つとなっている。また、近年はビジネスに適した環境も注目され、不動産・エネルギーコストの低さや充実したインフラ、簡素な規制に加え、州民の勤勉で献身的な気質は優れた労働力として魅力となっている。特に、先進製造業、エネルギー産業、航空宇宙産業、自動車産業、流通業で実績があり、企業の事業拡大や移転先として注目される。地理的優位性、港湾・鉄道・道路・航空へのアクセス、豊富な天然資源（木材、土地、天然ガス、淡水）を誇り、企業に優しい税制や規制改革、財政的支援、製造業を支援する州機関、企業と連携した教育プログラムも充実している。



また、ミシシッピ州は、企業誘致とプロジェクト開発に積極的に取り組んでいる。過去には日産、トヨタ、横浜タイヤ、コンチネンタルタイヤ（Continental Tire）などの大手企業を誘致してきた。ヨーロッパ事務所開設などを通じて、州のビジネス環境を積極的にアピールし、さらなる企業誘致を目指している。

高品質かつ低価格で利用できるエネルギー、迅速な許認可制度、即戦力となる労働者育成プログラムなどが、州の強みとなっている。さらに、学生の読解力・数学力向上や、「ReSkill Mississippi」のような訓練プログラムは、失業者を再就職へと導き、企業が必要とする人材を確保している。経済は新型コロナウイルスの影響で一時停滞したものの、2020年に前年比45%増となる16億3,000万ドルの新規投資を呼び込み、5,000件以上の雇用を生み出した。中小企業の事業継続も支援し、地域経済の活性化を促進している。

“ミシシッピ州の経済は活況を呈している。失業率は史上最低水準であり、今こそ我が州で中小企業を立ち上げ、成長させる理想的な時期である。これらの資金が地域社会に投資され、ミシシッピ州で育った中小企業を支援することを非常に喜ばしく思う。”

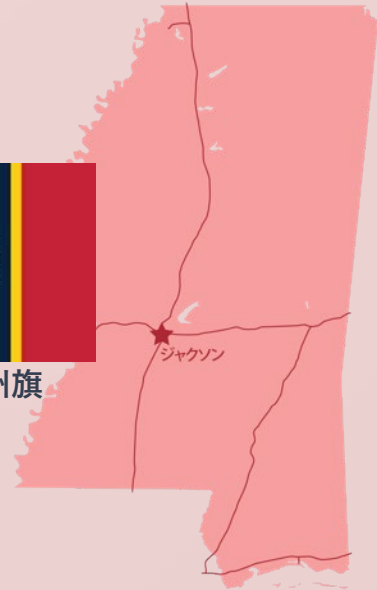
2023年7月12日 ミシシッピ州中小企業向け融資プログラム開始に際して
デート・リープス ミシシッピ州知事

経済－主要産業

Major Industries



ミシシッピ州旗



先進製造業



航空宇宙・防衛



農業・食品・飲料



自動車



流通・物流



林業・エネルギー・化学

ミシシッピ州の主要産業セクターには、①先進製造業、②航空宇宙・防衛、③農業・食品・飲料、④自動車、⑤流通・物流、⑥林業・エネルギー・化学などが挙げられる。

なお、主要産業の記載に当たっては、ミシシッピ州経済開発局（Mississippi Development Authority：MDA）のウェブサイト及び資料を参考に作成した。既に高い競争力を有する産業の他、今後の成長を見込む産業も含まれている。

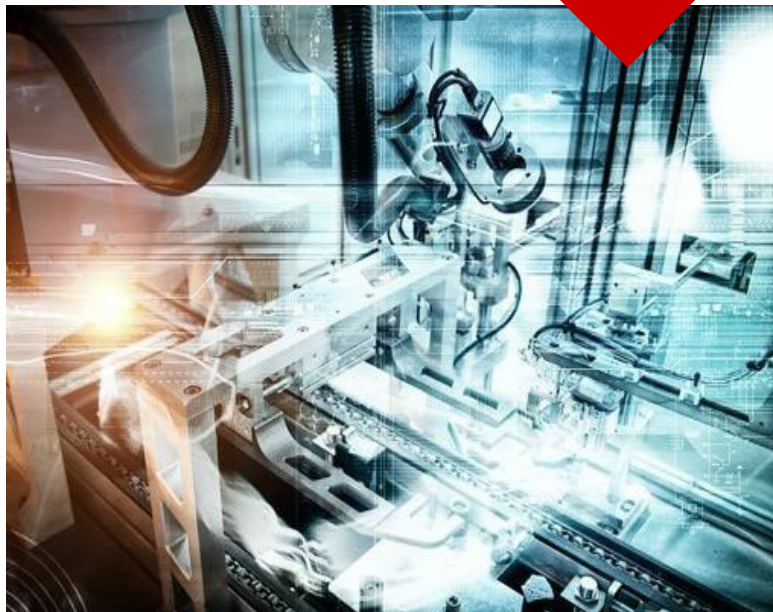
経済－主要産業

Major Industries



先進製造業 *Advanced Manufacturing*

ミシシッピ州は自動車からロケットに至るまでの製造業が盛んな州として知られ、革新的な精神で常に進歩を続けている。光熱費や税率が低いうえに政府の手続きや書類申請も簡素化されており、優れたインセンティブもあるため、ビジネスをしやすい環境となっている。企業にとって最大の魅力は、献身的かつよく訓練された14万人を超す労働力で、州内には40万以上の高度製造関連の職がある。その結果、米海軍艦艇の7割を製造するハンティントン・インгалス・インダストリーズ（Huntington Ingalls Industries）やトヨタ、エーデルブロック（Edelbrock）、コーラー（KOHLER）、ミルウォーキー・ツール（Milwaukee Tool）をはじめとする世界の著名企業が毎年何十億ドルも売り上げを計上し、州経済の重要産業となっている。



航空宇宙 *Aerospace & Defense*

ミシシッピ州の航空宇宙・防衛産業は大きく成長し、重要な位置付けにある。同産業の要となるのが60年にわたってNASAのロケットエンジン試験施設となってきたジョン・C・ステニス宇宙センター（John C. Stennis Space Center）である。

ミシシッピ州には専門的なインフラや熟練労働力、優秀な学術機関といった優位性があり、GEアビエーション（GE Aviation）、

エアバス・ヘリコプターズ（Airbus Helicopters）、ロッキード・マーチン（Lockheed Martin）、レイセオン（Raytheon）、レラティビティ・スペース（Relativity Space）、バーテックス・エアロスペース（Vertex Aerospace）、ハンティントン・インгалス・インダストリーズ（Huntington Ingalls Industries）、ホルター・マリーン（Halter Marine）など、航空宇宙産業をリードする企業が多数進出している。また、連邦航空局（Federal Aviation Administration：FAA）はミシシッピ州立大学（Mississippi State University）を無人航空機研究拠点（Unmanned Aerial Systems Center of Excellence: ASSURE）に指定し、航空宇宙の研究開発を後押ししている。



経済－主要産業

Major Industries



農業・食品・飲料 *Agriculture, Food & Beverage*



農業・食品・飲料はミシシッピ州の長年の主要産業で、15の農産品で生産量が全米トップ20に入る。2018年の国勢調査では水産養殖業が2億3,070万ドルの売上高で全米トップとなった。農業には州民の17.4%が従事している。また、全米トップ5に入る鶏肉生産地でもあるほか、北西部の都市グリーンウッド（Greenwood）は「世界の綿花の首都」として知られている。

同州の非常に肥沃な土壌は、農作物の栽培に適しており、高速道路網や物流ネットワーク、そして低い事業コストによって州内のアグリビジネスが栄えている。主な企業には、ヌファーム（Nufarm）やサザンコーヒー・サービス（Southern Coffee Services）、サンダーソン・ファームズ（Sanderson Farms）などがある。



自動車 *Automotive*

ミシシッピ州は2003年に日産自動車がかントン（Canton）に500万平方フィート（約150万平方メートル）の組立工場を設けて以来、自動車製造業が基幹産業の一つとなっている。2022年、日産は5億ドルを投じて同工場を一部改装し、2種類の新型電気自動車の生産を開始すると発表した。ほかにもトヨタやパッカー（PACCAR）などの自動車メーカーが進出している。また、コンチネンタル・タイヤ（Continental Tire）、ヨコハマ・タイヤ、クーパー・タイヤ（Cooper Tire）がそれぞれ全米最大級の拠点を有している。年間50万台以上の自動車が州内で生産され、200社以上の自動車関連企業が1万5,000人以上を雇用している。さらに、ミシシッピ州立大学（Mississippi State University）の先進車両システムセンター（Center for Advanced Vehicular Systems）、ミシシッピ大学（University of Mississippi）のヘイリー・バーバー製造研究センター（Haley Barbour Center for Manufacturing Excellence）に加え、企業のニーズに合わせたトレーニングを提供する複数の専門学校がある。

経済－主要産業

Major Industries



流通・物流 *Distribution & Logistics*

ミシシッピ州は、鉄道や港湾、航空といった総合的な複合輸送ネットワークに加え、6つの州間高速道路と14の連邦高速道路を含む4つの高速道路網があり、米国の主要都市の55%が州内から自動車ですぐにアクセス可能となっている。このため、セフォラ（Sephora）、ダラー・ゼネラル（Dollar General）、アソシエイテッド・ホールセール・グロースーズ（Associated Wholesale Grocers）など、多くの企業が倉庫や流通拠点としてミシシッピ州を選んでいる。2021年にはアマゾン（Amazon）がフルフィルメントセンターをマディソン（Madison）に開設した。この最先端の施設では、先進的なロボット技術を使って出荷処理が行われている。



林業・エネルギー・化学 *Forestry, Energy & Chemicals*

ミシシッピ州の豊富な水と木材は、森林・エネルギー・化学産業にとって他にない利点となっている。林業は2018年に推定61,619人の雇用を創出し、29億6,000万ドル以上の売り上げを記録した。さらに、石炭とバイオマスが豊富で、1万3,000マイル（約2万900km）を超える州間パイプラインがあり、原油、天然ガス、石油精製品を輸送している。

また、州内には、単一炉としては米国最大の原子炉もある。鉄道や港湾、航空、州間高速道路からなる輸送網によって、40社以上が国内輸送と世界規模の輸出をシームレスに実現している。州経済に多大な利益をもたらしている林業・エネルギー・化学企業には、ヘリテージ・プラスチックス（Heritage Plastics）、ジョージア・パシフィック（Georgia-Pacific）、ウェストレイク（Westlake）、シェブロン（Chevron）、エンタージー・ニュークリア（Entergy Nuclear）などがある。



経済－企業

Major Companies

ミシシッピ州の事業所数、マイノリティ所有事業所数、
退役軍人所有事業所数（2022年）

事業所の種類	総数
事業所	40,180
マイノリティ所有事業所	5,771（事業所数比14.4%）
退役軍人所有事業所	2,395（事業所数比6.0%）

データ：米国国勢調査局

日系企業がミシシッピ州に多数の拠点

ミシシッピ州には50社の日系企業が進出しており、外国企業の中で最多を誇る。特に日産やトヨタの自動車組立工場をはじめ、カサイノースアメリカや横浜ゴムなどの自動車関連企業が活発に事業を展開している。また、味の素やカルビーといった食品企業も現地生産を行い、日系企業全体で州内で約1万5,000人の雇用がある。

出典：在ナッシュビル日本国総領事館



ジャクソン市内



ティショミング州立公園



ビックスバーク国立軍事公園



ビロキシの灯台

投資インセンティブ

Investment Incentives

ミシシッピ州政府の主な投資インセンティブ（2025年3月現在）

インセンティブ	概要
製造業投資税控除（Manufacturing Investment Tax Credit）	州内で2年以上事業を行い、製造施設の建物や設備に100万ドル以上を投資する製造業を対象に、投資額の5%相当を控除する。控除分は州所得税に充当できる。
クリーンエネルギー・イニシアチブ（Mississippi Clean Energy Initiative Program）	原子力、太陽光、風力などの再生可能エネルギー発電に使われるシステムや部品を製造する企業を対象に、10年間、州の所得・法人税、売上・使用税を免除する。受給資格は、最低5,000万ドルの投資と250名の常勤雇用の創出。
エネルギー効率向上ローン基金（Energy Efficiency Revolving Loan Fund（EERLF））	省エネルギー性能の向上や再生可能エネルギー技術・設備の導入のための低金利ローン。空調設備の更新、照明改修、断熱強化などが対象。最大50万ドルの融資が可能。
スキルトレーニング所得税控除（Skills Training Income Tax Credit）	製造業、卸売業、加工業、研究開発施設、流通業、倉庫業などの企業が、州内で雇用している従業員に技能訓練を提供する場合、企業が負担した訓練費用の50%に相当する州所得税を控除する。控除額の上限は従業員1人当たり年間2,500ドル。
固定資産税の標準免除（Standard Property Tax Exemption）	州内で新規設立または拡張する企業に対し、10年間、固定資産税を免除する。対象となる事業は、製造・加工・精製、研究開発、倉庫・流通、航空輸送・メンテナンス、通信、データ・情報処理など。
研究開発費のリベート（Research and Development Rebate）	州内の大学と提携して研究開発を行う企業に対し、研究開発費の25%を還付する。エネルギー関連の研究も対象。
研究開発スキル税控除（R&D Skills Tax Credit）	研究開発関連技能を必要とする職種に対し、最大5年間、1人当たり年間1,000ドル相当の所得税を控除する。対象となる職種は、認定された4年制大学で科学・技術分野の学士号を取得し、従業員の専門分野で雇用され、専門職レベルの報酬を得ていることが条件。
映画制作に対する売上税減免（Sales Tax Reduction for Film Production）	全国配信される長編映画、テレビ番組、コマーシャルなどを州内で制作する企業に対し、購入・レンタルの売上・使用税を減免する。制作スタッフの20%以上が州内に居住することが条件。
本社機能設立に伴う売上税・使用税の免除（Sales and Use Tax Exemption for Corporate Headquarters）	州内に本社を新規建設、移転、拡張する企業を対象に、施設の建築資材、設備、機械などにかかる一般的な7%の州消費税を免除する。20人以上の雇用創出が条件。移転・拡張プロジェクトの開始から、操業開始後3ヶ月まで適用される。
データセンター事業の売上・使用税の免除（Sales and Use Tax Exemption for Data Center Enterprises）	データセンターのコンピュータ機器やソフトウェアの新規購入・交換費用に対し、売上・使用税を免除する。受給条件は、2,000万ドル以上の投資と、州平均の125%の給与を支払う20名の新規雇用。
産業向け債券融資に伴う売上・使用税の免除（Sales and Use Tax Exemption for Industrial Revenue Bond（IRB） Financing）	ミシシッピ州ビジネス金融公社（MBFC）が発行する産業向け収益債（IRB）を利用するプロジェクトに対し、債券発行資金で購入された全ての物品の売上税を免除する。

出典：ミシシッピ州経済開発局

経済開発組織・商工会議所

地域	経済開発組織	商工会議所
ミシシッピ州（Mississippi State）	ミシシッピ州経済開発局（Mississippi Development Authority：MDA） ミシシッピ州経済開発協議会（Mississippi Economic Development Council：MEDC）	ミシシッピ経済評議会（Mississippi Economic Council）
ガルフコースト（Gulf Coast）	—	ミシシッピ州ガルフコースト商工会議所（Mississippi Gulf Coast Chamber of Commerce, Inc.） ガルフコースト経済協議会（Gulf Coast Business Council）
ジャクソン郡（Jackson County）	ジャクソン郡経済開発委員会（Jackson County Economic Development Committee）	グレーター・ジャクソン商工会議所（Greater Jackson Chamber Partnership） ジャクソン郡商工会議所（Jackson County Chamber of Commerce）
ガルフポート（Gulfport）	ガルフポート都市開発局（City of Gulfport Urban Development）	—
トゥーペロ/リー郡（Tupelo and Lee County）	地域開発基金（Community Development Foundation）	—

出典：各組織のウェブサイト

主要大学

U.S.News & World Reportの2025年大学ランキングにおいてミシシッピ州で上位に入った大学は次の通り。

大学	順位
ミシシッピ大学 (University of Mississippi, オックスフォード Oxford)	117位
ミシシッピ州立大学 (Mississippi State University, ミシシッピステート Mississippi State)	214位
ウィリアムケアリー大学 (William Carey University, ハッティズバーグ Hattiesburg)	329位

出典：U.S.News & World Report 2025を基に作成

ミシシッピ大学

ミシシッピ大学は、1848年に設立された州立大学で、州北部のオックスフォード (Oxford) にキャンパスを構えるミシシッピ州の旗艦大学。愛称は「Ole Miss」(オールミス)。医学部を含む16の学部を擁し、学部生の間ではビジネス・マーケティング分野や医療関連分野が特に人気となっている。また、法学の加速プログラムがあり、通常7年かかる学士号と法務博士号 (J.D.) を6年で取得することができる。成績優秀な州内出身の学生を対象とした複数の奨学金が用意されている。

スポーツが盛んなことでも知られ、オックスフォードのキャンパスには、6万人以上が収容可能なアメフト競技場ヴォー・ヘミングウェイスタジアム (Vaught-Hemingway Stadium) がある。



ミシシッピ州立大学

ミシシッピ州立大学は1878年に設立された州立大学で、州東部のスタークヴィル (Starkville) 近郊にキャンパスを構える。農学・生命科学学部、建築・デザイン学部、森林資源学部など12の学部がある。大学院では、獣医学の評判が高く、工学、経営学などの専攻もある。

2022年度の研究支出は、3億340万ドルで、ミシシッピ州内の研究機関の研究開発支出総額の53.6%を占めている。





コミュニティカレッジ

ミシシッピ州には、15のコミュニティカレッジがあり、9万人を超える学生が在籍している。ミシシッピ・コミュニティ・カレッジ理事会（Mississippi Community College Board：MCCB）は、州内のコミュニティカレッジのための支援や調整を担う機関で、専門能力開発センター（Center for Professional Development）を通じてコミュニティカレッジの教職員や管理者向けの様々な研修プログラムを提供している。

ミシシッピ州でのコミュニティカレッジと民間企業の提携例として、州の重要産業の一つ造船業がある。ミシシッピ・ガルフコースト・コミュニティカレッジ（Mississippi Gulf Coast Community College：MGCCC）は50年以上にわたり、同州最大の雇用主である造船大手ハンティントン・インガルス・インダストリーズ（Huntington Ingalls Industries）と提携して造船業向けの人材開発や訓練プログラムを提供している。また、MGCCCは2020年、ミシシッピ州パスカゲーラ（Pascagoula）に本社を置く造船会社ホルター・マリーン（Halter Marine）と提携し、新たな技能実習プログラムを開始。



さらに2021年には、VR（仮想現実）およびAR（拡張現実）のソフトウェア開発業者であるイオン・リアリティ（EON Reality）との提携関係の拡大を発表した。高度なIT人材を育成するため、イオン・リアリティの人工知能（AI）搭載の最先端クロスリアリティ（XR）プラットフォームを統合し、シミュレーションおよびゲームデザインプログラムを強化している。

特許

ミシシッピ州の2020年における特許取得件数は205件であった。同州では、ジャクソンのミシシッピ・ライブラリ・コミッション（Mississippi Library Commission）が、米国特許商標庁の特許商標リソースセンター（Patent and Trademark Resource Centers：PTRC）に指定され、特許取得に関する情報を提供する専門スタッフが配備されている。



ミシシッピ州の特許取得件数 (2020年1月1日～12月31日)

地域	特許取得件数
ミシシッピ州	205
米国	183,147
海外からの取得	205,714

データ：米国特許商標庁



スタートアップ

Startups

ベンチャーキャピタル (VC)	概要
Mississippi Angel Investor Network	州内所在のテクノロジー系企業と投資家をつなぐエンジェルファンド・グループ団体。ソフトウェアやライフサイエンス、コミュニケーション分野の企業による25万～80万ドル規模の資金調達を支援する。「North Mississippi Angel Fund」、「South Mississippi Angel Fund」、「Mississippi Angel Fund」はそれぞれ2018年、2022年、2024年に設立。 ※Innovate Mississippi (下記) も参照。
Bulldog Angel Network (BAN) (スタークビル)	ミシシッピ州立大学の卒業生および関係者のための、エンジェル投資ネットワーク。同校の学生、教員、卒業生が過半数以上所有する企業のアーリーステージに投資する。 ※MSU Center for Entrepreneurship and Outreach (下記) も参照。
インキュベーター・アクセラレーター	概要
Innovate Mississippi (ジャクソン)	イノベーション関連企業の支援を目的に、州や経済開発機関をはじめ複数の団体と連携し、様々な事業を実施する非営利団体。前身組織は1998年設立で、2012年から現名称。 ・Mississippi Angel Investor Network (上記参照) を運営。 ・アーリーステージのハイテク系企業を対象とするシードファンド「Mississippi Seed Fund」を提供。 ・州内所在のプレシードからシリーズAステージにある企業とVCファンドに投資を行う「InvestMS」を運営。 ・6カ月間のソフトウェア開発プログラムを無償で提供する「Mississippi Coding Academies (MCA)」を州と共同で設立。 ・州内のスタートアップを対象に12週間のプログラムを提供するアクセラレーター「CoBuilders」を運営。
GulfBlue Navigator (ガルフポート)	南ミシシッピ州大学研究財団による4カ月間のプログラムで、レイターステージの海洋関連技術企業を対象に、研究、試作、製造、資金調達、メンタリング、ネットワーキングなどを支援。研究や実験施設、コワーキングスペースなどを提供する。※The Accelerator (下記) 参照。
The Accelerator (ハッティズバーグ)	南ミシシッピ大学が運営する「Innovation and Commercialization Park」にあるアクセラレーター施設で、企画・開発から試験・試作、製造・商業化までを行える、設備やサービス、実験施設、貸事務所などがある。
The Innovation Hub (オックスフォード)	ミシシッピ大学のリサーチパーク「Insight Park」内のインキュベーター施設。貸事務所や実験・分析施設、会議、トレーニングなどのための施設がある。
The North Mississippi Enterprise Initiative (NMEI) (オックスフォード、ベイツビル、グレナダ)	ミシシッピ北部の3都市に拠点を構える非営利団体。コンサルティングや技術面のサポート、経営、法律、マーケティングについての相談、ワークショップやセミナーなどを提供。オックスフォードの拠点には、事務所スペースや実験施設、データセンターなどを備える。
MSU Center for Entrepreneurship and Outreach (スタークビル)	ミシシッピ州立大学によるスタートアップ支援機関で、学生や教員、州所在の企業を支援する。試作用設備やコワーキングスペース、貸事務所などの施設がある。学生や教員には助成金や投資資金の支援、メンタリングやトレーニングも提供する。 ※Bulldog Angel Network (BAN、上記) も参照。

出典：各組織のウェブサイト

ライフスタイル

Lifestyle

生活基本データ（調査期間：2019～23年）

生活基本データ	ミシシッピ州	米国全体
世帯所得（中央値、ドル）	54,915	78,538
住宅価格（中央値、ドル）	161,400	303,400
家賃（中央値、ドル）	923	1,348
持ち家率（%）	69.5	65.0

データ：米国情勢調査局

人気居住エリア

州都ジャクソンの郊外にあるマディソン（Madison）は、公立学校の評判が良く、高級住宅の所有者が多く、家族向けの住宅地として人気が高い。また、同じくジャクソンの郊外にあるリッジランド（Ridgeland）は、住宅価格がマディソンよりも低く、優れた公立学校も揃っていることから、世帯持ちから住宅を所有しないヤングプロフェッショナルにも好まれている。



日本関係コミュニティ

ミシシッピ州のアジア人は総人口の1.2%と少ない。ミシシッピ日米協会（The Japan-America Society of Mississippi）が中心となり、日米の文化交流を推進している。ミシシッピ大学内には、同大と進出日系企業の支援を受け2008年にノースミシシッピ日本語補習校（North Mississippi Japanese Supplementary School at The University of Mississippi）が設立された。日本の教科書を用いて小学生から中学生までの学習を支援している。



交通

米国情勢調査局によると、ミシシッピ州では住民の圧倒的多数が車を運転して通勤しており、2023年には16歳以上の82.5%が車、トラック、バンを一人で運転し、9.14%が相乗りだった。公共交通機関（タクシーを除く）の利用は0.25%で、1.29%が徒歩通勤だった。平均通勤時間は25.6分で、全米平均の26.6分より1分短い。

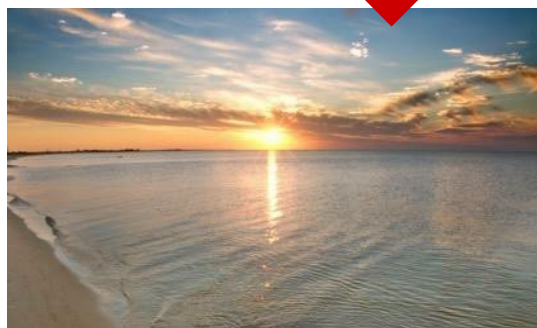
ライフスタイル

Lifestyle

ミシシッピ州には豊かな自然や南部の歴史、文化に触れることができる名所が多い。ブルースをはじめ、ジャズ、ロック、カントリーなど様々な音楽との縁が深く、州境には「ようこそ、米音楽発祥の地ミシシッピへ」の標識が掲げられている。

自然公園

メキシコ湾岸には美しい白浜が広がるガルフ・アイランズ国立海岸公園（Gulf Islands National Seashore）がある。北東部のティショミング郡（Tishomingo County）には、ティショミング州立公園（Tishomingo State Park）がある。1万年以上前から使われてきた道を整備したナチェス公園道路（Natchez Trace Parkway）は森林の間を抜ける人気のドライブコースである。



ガルフ・アイランズ国立海岸公園

博物館／美術館

州都ジャクソンにはミシシッピ歴史・公民権博物館（Museum of Mississippi History, Mississippi Civil Rights Museum）や第二次大戦時の駆逐艦キッド（USS KIDD）博物館、北東部インディアノーラ（Indianola）には「ブルースの神様」B.B.キング（B.B. King）とブルース誕生の地ミシシッピデルタ（Mississippi Delta）の文化を伝えるB.B.キング・ミュージアム・アンド・デルタ・インタープリティブ・センター（B.B. King Museum and Delta Interpretive Center）、州西部メリディアン（Meridian）には州の文化芸術を伝えるミシシッピ・アーツ&エンターテインメント・エクスペリエンス（Mississippi Arts & Entertainment Experience）などがある。

ミシシッピ州出身のロック歌手エルビス・プレスリーの生家も人気。メキシコ湾岸ガルフポート（Gulfport）にある海洋哺乳動物研究所（The Institute for Marine Mammal Studies）には、イルカの救護センターがある。

南北戦争の激戦地となったビックスバーク（Vicksburg）には、国立軍事公園（Vicksburg National Military Park）や、南北戦争で就役し沈没した北軍の砲艦カイロ（USS Cairo）を展示しているUSSカイロ博物館（USS Cairo Museum at Vicksburg National Military Park）がある。南北戦争の貴重な史跡で、歴史ファンを魅了している。ビックスバークは米国でコカ・コーラの瓶詰め販売が始まった町としても知られる。



ビックスバーク国立軍事公園



エルビス・プレスリー出生の家

スポーツチーム

米国のメジャープロスポーツを代表するチームはないが、ミシシッピ大学アメリカンフットボールチームのレベルス（Ole Miss Rebels）は、地元住民を中心に人気である。

住民気質

ミシシッピ州の人々は、「サザン・ホスピタリティ（南部のおもてなしの心）」の言葉どおり、他人を暖かく親切にもてなす気質で知られており、近所の住人同士も親しい間柄であることが多い。家の玄関前のポーチで、隣人と気さくに長話をする光景がよく見られ、助け合い精神も強い。また、日曜日の朝には教会に行く敬虔な人が多く、礼儀作法を重んじる人が多いのも特徴である。

A large red graphic element on the right side of the page. It consists of a thick red horizontal bar that transitions into a series of nested, stylized diamond shapes. The outermost diamond is red, and the inner ones are a lighter shade of red, creating a sense of depth and movement.

JETRO

ジェトロ・ヒューストン事務所

1221 McKinney Street, Suite 4141,

Houston, Texas 77010, U.S.A.

E-mail: inqu-hou@jetro.go.jp